

第4回九州大学基幹教育シンポジウム開催報告

2017年12月15日(金)に、第4回九州大学基幹教育シンポジウムが九州大学西新プラザで開催され、70名の方にご参加いただき、盛会のうちに終えることができました。
お忙しい中、ご参加・ご協力いただき、誠にありがとうございました。
以下に参加者にご回答いただいたアンケート結果を示します。

【開催概要】

日時: 2017年12月15日(金)

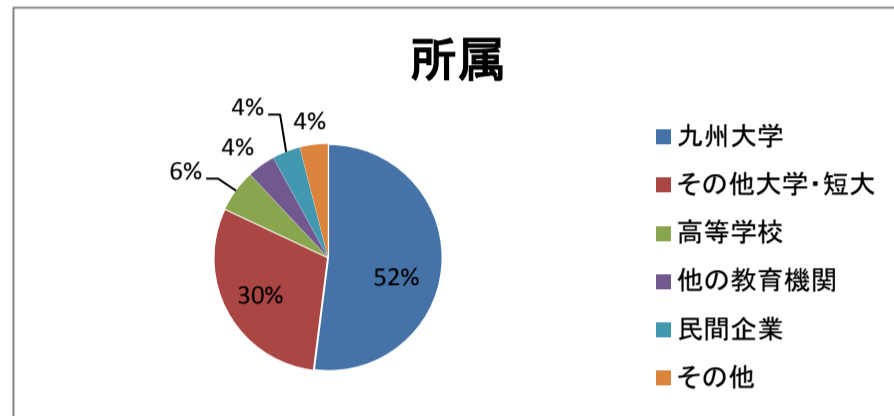
会場: 九州大学西新プラザ

参加者: 70名(アンケート提出者: 50名)

【参加者内訳】

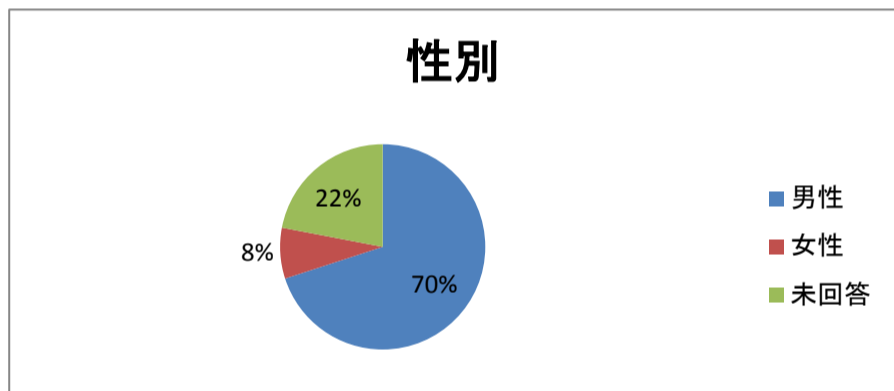
●所属

九州大学	26
その他大学・短大	15
高等学校	3
他の教育機関	2
民間企業	2
その他	2
未回答	0
計	50



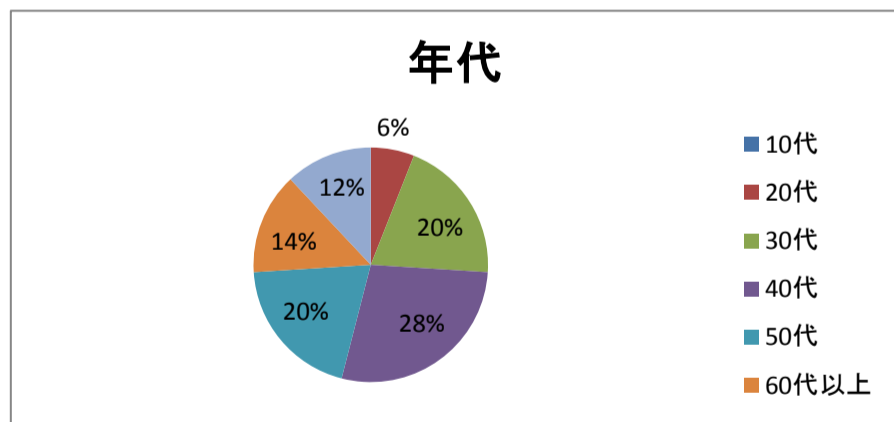
●性別

男性	35
女性	4
未回答	11
計	50



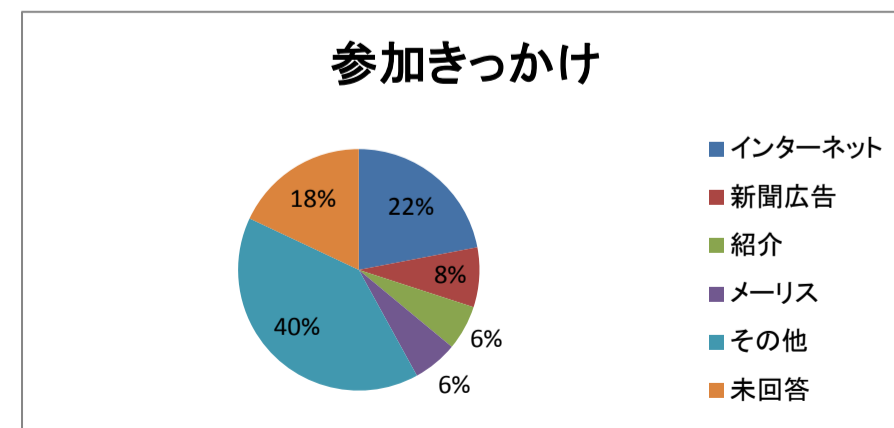
●年代

10代	0
20代	3
30代	10
40代	14
50代	10
60代以上	7
未回答	6
計	50



●参加きっかけ

インターネット	11
新聞広告	4
紹介	3
メール	3
その他	20
未回答	9
計	50

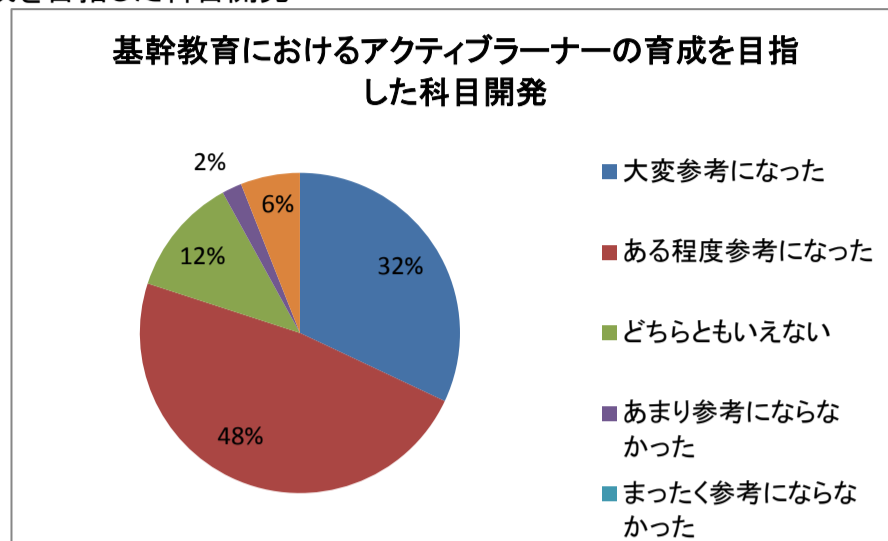


【アンケート結果】

(1)以下の報告や講演等は、あなたにとってどの程度参考になりましたか。以下の尺度でお答えください。

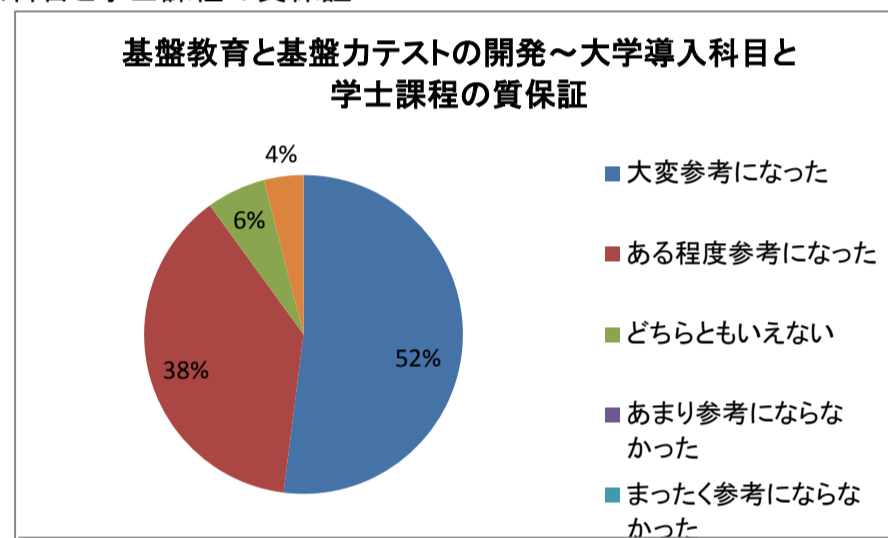
●基幹教育におけるアクティブラーナーの育成を目指した科目開発

大変参考になった	16
ある程度参考になった	24
どちらともいえない	6
あまり参考にならなかった	1
まったく参考にならなかった	0
未回答	3
計	50



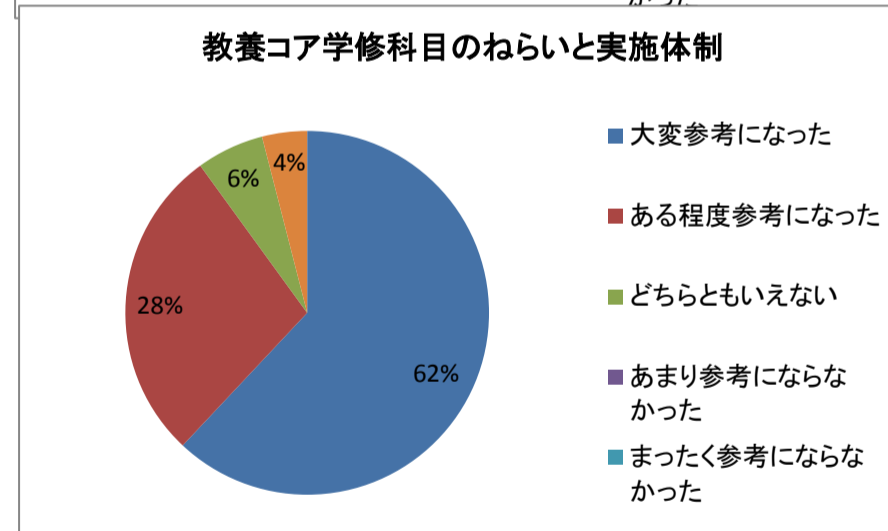
●基盤教育と基盤力テストの開発～大学導入科目と学士課程の質保証

大変参考になった	26
ある程度参考になった	19
どちらともいえない	3
あまり参考にならなかった	0
まったく参考にならなかった	0
未回答	2
計	50



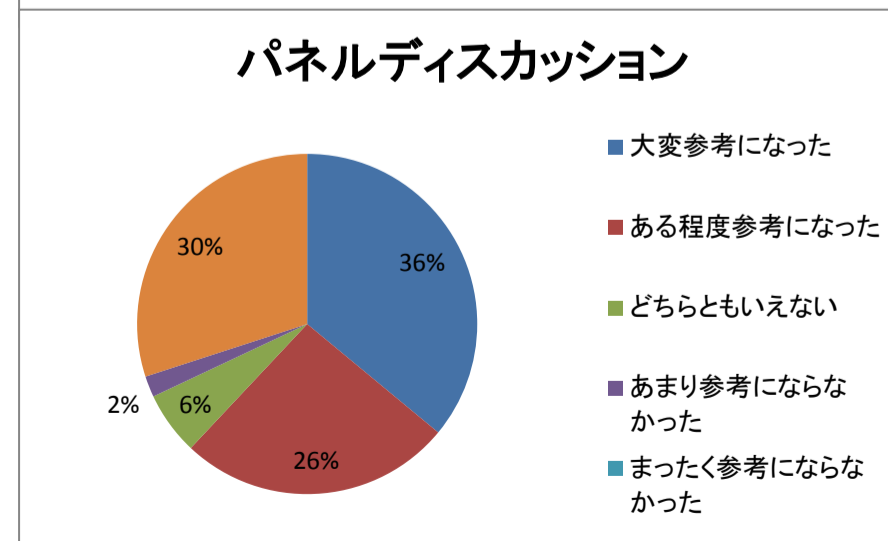
●教養コア学修科目のねらいと実施体制

大変参考になった	31
ある程度参考になった	14
どちらともいえない	3
あまり参考にならなかった	0
まったく参考にならなかった	0
未回答	2
計	50



●パネルディスカッション

大変参考になった	18
ある程度参考になった	13
どちらともいえない	3
あまり参考にならなかった	1
まったく参考にならなかった	0
未回答	15
計	50



(2)今日のシンポジウムに参加してもっと知りたい、学びたいと思ったことやトピックをお書きください

- ◇大学院生向けの教養教育の事例
- ◇地域連携に関するテーマ⇒地域共創、共働について、授業やインターンシップで企業・自治体との関わり方や成長についての研究
- ◇東工大の大学院科目の詳細
- ◇基幹教育について、基盤力テスト
- ◇アクティブラーナーの育成のいろいろな大学の具体的な取り組み
- ◇ファシリテーター型のTAをどう育成するか
- ◇始まったばかりの取り組みの報告も多かったのですが、そのフォローアップの結果に興味があります
- ◇アクティブラーナーの育成、アクティブラーニングの効果、評価方法
- ◇科目開発は必要なのだろうが、単位数は限られるため、新しいものを作ればその分割らなければならない部分も出てくるのではないかと。そういった全体のバランス調整について、各大学はどう取り組んでいるのかが知りたい
- ◇大学での教育改革に対する学生、企業の反応を知りたい。学び方を教えることで、学生がどう変わったか
- ◇大学院教育について
- ◇学生の選択の自由度がその後に与えるもの
- ◇東工大教養コア学修科目の10年後の成果
- ◇山形大学基盤力テストの1年時と3年次の比較
- ◇リベラルサイエンスとSTEM教育について
- ◇今の学生の実態(具体的な)や傾向
- ◇今後の教養教育の方向、新しいアプローチなど、実践結果も含めて学びたい
- ◇外国における教養の考え方についても学びたい
- ◇特長のあるアプローチをしている私立大学における教養教育についても学びたい
- ◇アクティブラーニングでの学生の評価法
- ◇院生に学部生を指導させるシステム
- ◇主要5因子性格検査の使い方(学生・教員・部局等へのフィードバック含め)
- ◇高校の先生からのご意見もあった通り、高大接続はもう少し掘り下げていければと思いました
- ◇新しい教養教育を受けた学生が社会に出たときにどのように評価されるのか？
あるいは社会に出たときどう活躍すると想定しているか？
- ◇学生の多角的評価の重要性、その方法論の確立(九大・男性・50代)
- ◇プログラム(教科)の評価の重要性、その方法論の確立
- ◇フロアからの発言を一切取り上げないような姿勢では困る。開かれていない
- ◇教育活動とIRについて
- ◇他大学の教育改革について、大変参考となった。今後も機会があれば参加したい
- ◇複数大学の教育実践の内容を伺って、興味深かったです。ご紹介いただいたようなリベラルサイエンス科目を受けることで学生にどのような変化(ないし成長)があるのか、10年単位で見えていかないといけないだろうと思います。
息の長い教育実践が必要と思います
- ◇基盤力テストの設計手法の詳細
- ◇大学教育における教養教育の位置づけや教員への理解を得る工夫、策
- ◇コミュニケーションやリーダーシップという能力が中心になっている取組が多いが、それらが性に合わない学生にどのような選択肢を提供できるとかというのが大きな課題だと考える
- ◇様々なカリキュラムや科目の話以外に、実施の際に予想外に起こった問題、その対処法なども聞きたかった
- ◇学生をアクティブラーナーとして育成するための仕掛け、学生の学びの発動を促すような働きかけ、「学びを欲する」ような内発性に訴えるための試みなど

(3)九州大学基幹教育について、ご意見やアドバイスをお書きください

- ◇大規模でとても挑戦的にやっておられると感じました
- ◇初年次の学生は基幹教育のみとのことだが、学生は所属学部と何らかのかかわりを持っているのか。
入試-基幹教育-専攻教育という流れがどう作られているかということが外にも(もしかしたら学生自身にも)見えてくるとその意義がより明確になるのではないかと感じる。
- ◇企業から求められる大学の基幹教育の視点も取り入れてくだされば助かります
- ◇教える側からだけでなく、教えられる側からの視点も必要かもしれません。
例えば、習熟曲線の上がり方、一度失敗した時の再アプローチなど
- ◇おもしろい取り組みをされていると思います
- ◇また参加したい
- ◇学生さんに基幹教育の理念を説明する機会があると良いかと思っています
- ◇学生企画の授業を考えてみるのも良いかもしれない(少人数でテーマを学生に作らせるなど)
- ◇広く他大学に公開しているFD研修の情報がほしいです